中京病院でのESWL (体外衝撃波による結石破砕術)

ESWL とは?

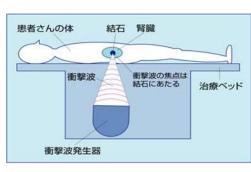
1980年に西ドイツのミュンヘン大学で考案された、尿路結石に対する治療法

です. 当院では 1988 年よりこの治療を開始しました. 原理は衝撃波を発生させこれを反射鏡で一点に集中させ結石に当てるものです. 結石は体の成分に比べて密度が高くここに衝撃波を当てると高いエネルギーを発生し結石は破砕されます. 実際には, 大きな機械の上に寝ていただき, 衝撃波を発射する水袋をからだに密着させて, 衝撃波が結石に当たるように X 線透視で焦点をあわせ, 約 3000 発衝撃波を発射します. 結石が十分に破砕され細かくなり, 尿に混じって排石されやすくなることが目標です. 1 回の治療に要する時間は約 1 時間です.

大きさが 10mm 以上の結石は自然排石の可能性が低く,放置しておくと尿路感染や水腎の原因

ESWL が適応と なる結石は?

となり腎機能が低下する場合があり、治療が必要となります。現在最も侵襲が少ないのが ESWL です。 9 mm以下の大きさの結石でも痛みなどの症状が強い場合や危険を伴う仕事に従事していて痛みの発作が困る場合、あるいは 2-3 ヶ月待っても排石しない場合は ESWL の適応となります。しかし結石が大きい場合や,X 線写真で見えない場合は経尿道的腎尿管砕石術(TUL)や経皮的腎尿管砕石術(PNL)といった内視鏡を使った手術の方が推奨される場合があります。





当院の結石破砕装置 ドルニエ社製 デルタ II

外来での 治療です!

当院では基本的に ESWL は 外来手術で午後におこなっ

ています。施行約1か月後に外来受診していただき X線写真などで結石が割れているかどうか、今どの 位置にあるか、水腎(石が尿管につまって腎臓に尿 が貯まる状態)があるかどうかなどを調べます。結石 が大きいときや硬いときなどは1回の治療では不十分なときがあり、この場合は原則として約3ヵ月 以上の間隔をあけて2回目のESWLを行っています。またESWLでの治療が困難と判断された場合、上記のPNLやTULに変更する場合もあります。

鎮痛・麻酔 ・**処置**

治療には多少の痛みが 伴いますが,基本的には

痛み止めの坐薬のみで治療が可能です。状況に応じて下半身麻酔を行いますが、麻酔をおこなうときは入院が必要となります。結石の破砕を助けたり、細かくなった結石片で尿管がつまらないようにするため、ESWLの前に腎と膀胱の間をつなぐバイパスの役目をするくだ(尿管ステント)を、膀胱鏡を使って尿管の中に留置する場合があります。

ESWL 当日の 注意と費用

当日車で来院されるときはなるべく運転できる 付き添いの方と一緒にお越しください。疼痛で 十分な破砕ができないときは痛み止めの注射を

行うことがありますが、副作用でふらつきや眠気などが生じ運転できなくなることがあります。また破砕後すぐの運転は危険を伴うこともありますので、控えてください。当日の朝食は可で、昼は絶食となります.水分は施行2時間前まで可です.治療後は特に気分不良なければ1時間ほど休んでいただいて帰宅可となります.水分・食事も可となりますが,特に水分は多く摂るようにしてください.帰宅してからは翌日まで安静を心がけてください.翌日よりは結石を出すために水分摂取と運動に努めてください.費用は健康保険2割負担では約4万円、3割負担で約6万円です.

治療後数日は一過性に 血尿が出たり,結石が出 るときの軽い排尿痛や

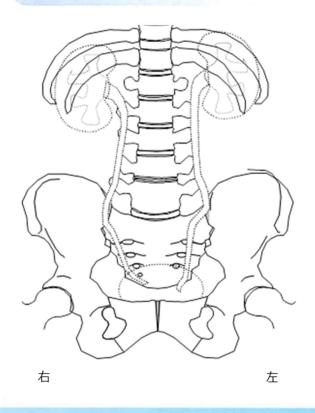
治療後 の注意

腰痛が生じることがあります。ESWL は結石を小さくするだけの治療ですから,治療後は水分を多く取って(可能なら1日2以は飲む),適度な運動(なわとびなど飛び跳ねる運動がよい)を心がけて早く石を出すように努力してください。また結石が出たのを確認するため茶こしなどで結石を集めるようにしてください。また集めた結石を外来日に持ってくる様にしてください。成分分析に提出して再発防止に役立てます。

合併症

主な合併症としては腎周囲への血腫による疼痛や貧血,腎機能低下,発熱などがあります.腎部に強い痛みが続くときや高熱が出るときは,時間内なら泌尿器科外来を,時間外のときは救急外来を早めに受診してください.

あなたの結石は?



手術日	月 日
ステントの留置	あり なし
施行日	月日
術後受診日	月日

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院 泌尿器科外来 TEL 052-691-7151(内線 2335)